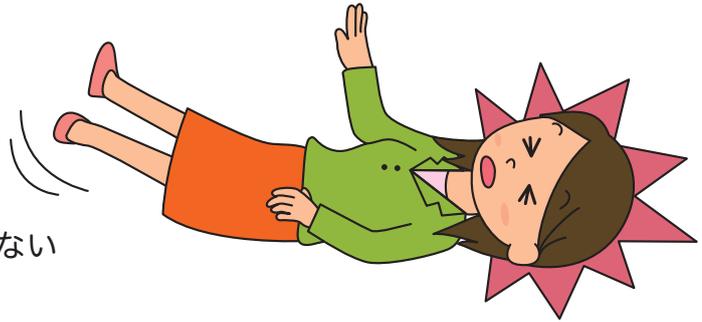


(2) 頭をぶつけた

こんなとき、救急車を！



- 意識がしっかりしているようでも、ここはどこ？私は誰？など、状況が分からない（子どもの場合、頭を打った直後に反応がなく、10秒以上経ってからひどく泣き出すことがあります）
- 頭を打ったことを覚えていない
- 手足に力が入らない
- 繰り返し吐き、ぐったりしている
- けいれんを起こした
- 耳や鼻などから出血があり、止まらない



7

症状に応じた救急車の利用を！

ワンポイントアドバイス



救急車が到着するまで

- 首の骨が折れていることがあるので、できるだけ首を動かさないようにしましょう。
- けいれんを起こした場合、口の中に指やタオルなどを入れると、舌を奥に押し込んで窒息を起こす危険がありますので、入れないようにしましょう。



首を動かさないように

子どもが頭をぶつけた

- 子どもの頭の骨の特徴として、大人と比べ柔らかくもろい部分がありますので、大人なら何でもない衝撃でも、骨折していることがあります。ぶつけた直後は体を動かさず、落ち着いて観察します。
- 後から頭の中に何か起こるのではないかと心配するご家族が多いのですが、子どもの場合、後から重大なことが起きる可能性は大人と比べると低いようです。頭をぶつけて2日程度様子を見て何も症状がなければ、安心してよいでしょう。



頭をぶつけた直後は、
体を動かさず観察